

1. パークレンジャーの誕生の経緯

1978年(昭和53年) 府民の森の誕生 利用開始

1989年～1990年(S64年～H2年):

キャンプ場や施設の拡充・整備

1990年(H2年)から3年は みどり公社がキャンプイベントを実施
また外部団体に依頼して色々な自然のイベントを実施していた

府民の森の利用者が100万人を超えるようになり施設整備だけでなく
自然公園の存在の意味を利用者に分かり易く伝える活動が求められる
ようになった

→ 自然のことを知ってもらう活動=インタープリテーション

府民の森の自然と利用者をつなぐパイプ役が必要
人と自然が仲良くなれるような様々な活動を運営・指導するボランティアを
みどり公社が主宰して育てることになった

→ 1993年 パークレンジャーが発足

2. 一期生の募集(1993/4/20～5/20)

活動内容:

- ①府民の森で年間10回程度開催されるイベントの参加者の指導
- ②なるかわ園地森のレストハウスで開催される自然観察会の運営補助
- ③自然情報の収集及び自然情報誌の編集作業
- ④府民の森内の標識設置、補修等のワーク

研修:

- ①年間6回程度府民の森を中心としたフィールドワーク
- ②年間6回程度の自然、環境、野外活動、レクリエーション等の座講
- ③その他必要に応じて他団体が主催する研修会に参加

募集対象:

- ①18才～20才半ばまでの男女
- ②自然の活動に理解と熱意のあること
- ③年間を通じて行事や研修に参加できること

3. パークレンジャーの歩み

1993年	(H5)	<u>(財)大阪府緑化・環境協会内に若者25人のボランティア組織 府民の森パークレンジャーが発足</u>
1994年	(H6)	人と自然をつなぐパイプ役として様々な自然の催し活動を開始した むろいけ園地でガイドウォークをするようになった
1996年	(H8)	
2000年	(H12)	広く人材を求めるため年齢制限を廃止(18~70才)
2003年	(H15)	園地班を作り催し企画から実施まで自主運営するようになった
2006年	(H18)	森林整備班を作り森林整備活動を始めた
2007年	(H19)	人材育成のためパークレンジャー養成基礎研修を始めた
2011年	(H23)	NPO法人日本パークレンジャー協会が発足した
2013年	(H25)	林野庁のさともり事業に応募しくろんど園地で里山保全活動を始めた
2016年	(H28)	東京海上日動保険(株)のGreen Gift 地球元気プログラムを受託した
2017年	(H29)	環境調査部を作り府民の森で生きもの調査活動を始めた
2022年	(R4)	府民の森パークレンジャーが30周年となり 自然や環境分野で幅広く活動している

4. パークレンジャーの役割

パークレンジャーの役割は「自然の大切さを分かり易く伝える」こと

様々な活動を通じて色々な自然を紹介して知ってもらう
そして自然を大切にする人になってもらう